

## 2025(令和7)年度 生徒心得

### 1 総 則

- ① 勉学に励み、社会で生活していくための教養と知識を身に付けよう。
- ② 日高高校生として、友人と切磋琢磨し、楽しく安全で充実した高校生活を過ごせるようにしよう。
- ③ 心豊かな人になれるよう、人間性と社会性を磨き成長しよう。
- ④ ルールとマナーを守り他人に迷惑をかけることのないよう過ごそう。

### 2 校内生活

本分である勉学に励み、学力を向上させ、知識を身に付け、友人と切磋琢磨しながら人間性を磨くため互いに協力しながら充実した高校生活を送ろう。

- ① 言葉遣い、服装、礼儀などは正しく、気持ちの良い挨拶をこころがけ品位を保つように努めること。
- ② 授業時間を厳守し、理由なき遅刻や早退がないようにすること。
- ③ 施設、設備など公共物を使用するときは必ず許可を受け、担当職員の指導のもとで活動すること。また、使用後は確実に後始末をすること。
- ④ 施設、設備、用具、備品は大切に扱うこと。（破損、紛失は必ず報告し、事情によるが実費弁償とする。）
- ⑤ 清潔整頓に注意し、清掃美化や衛生に努め、清掃当番は責任をもって丁寧に行うこと。
- ⑥ ゴミの分別を心がけ、自分で出したゴミは極力持ち帰ること。
- ⑦ 所持品は記名して、各自で管理をしっかりとし、不必要な金銭や高額な物品などは持参しないこと。
- ⑧ 学校生活に不必要なものは持参しないこと。
- ⑨ 職員室の入退室時は、服装を整え、挨拶をしっかりとし、丁寧な言葉遣いを心掛けること。
- ⑩ 下校時刻は18:00とし、完全下校時刻は18:30とする。

### 3 服装頭髪など

服装や頭髪は、華美にならず、端正で気品があり、清潔な身なりや着こなしを心がけよう。

#### ① 制服など規定

制 服 (指定)	夏 季	冬 季
	<b>上衣</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カッターシャツ</li> <li>・ ブラウス</li> <li>・ 半袖ポロシャツ</li> </ul>	<b>上衣</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブレザー</li> <li>・ カッターシャツ</li> <li>・ ブラウス</li> </ul>
	<b>下衣</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏用スラックス</li> <li>・ 夏用スカート</li> </ul>	<b>下衣</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬用スラックス</li> <li>・ 冬用スカート</li> </ul>
	<b>夏冬共通</b> 指定のニットベストは年間を通じて着用可。 ・ 式典においてはニットベストを着用する。(気候により指定する場合がある。)	
防寒着	・ 防寒着、マフラー、手袋は華美でないもの。 ・ Vネックのセーター、カーディガンは、無地で黒、紺。	
靴下など	・ 白、黒、紺を基準に無地でワンポイント可。 ・ ルーズソックスに類するものは不可。 ・ ストッキング、タイツは黒、ベージュを基準に無地。	
靴	・ ローヒールで華美でないもの。 ・ スリッパ、サンダル、下駄などは禁止。	
上履き(指定)	・ 指定のスリッパ。	
鞆	・ 特異、華美でないもの。	

頭髪など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 頭髪は清潔、端正とする。</li> <li>・ 染色、脱色、パーマなど、また、目立つ髪型は禁止。</li> <li>・ 髪留め類(ヘアピン、ヘアゴム、ヘアクリップなど)は髪をまとめるものとし、装飾のための華美なものは禁止。</li> </ul>
装飾品・化粧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピアス、ネックレス、指輪、ミサンガなど装飾品は禁止。</li> <li>・ カラーリップ、ふたえのり、カラーコンタクト、マニキュアなど化粧に類するものは禁止。</li> <li>・ その他高校生として不必要なファッション、アクセサリーなどは禁止。</li> </ul>

- ② 夏季服装は6/1～9/30、冬季服装は10/1～5/31とし、前後10日程度の移行期間を設ける。
- ③ やむを得ず服装規定に違反する場合は、異装願を提出し許可を得ること。
- ④ 登下校は制服を基本とするが、土日祝日、長期休業中の部活動等でのジャージやユニフォームの通学を可とする。
- ⑤ 体育時の服装はトレーニングシャツ、トレーニングズボン、半袖シャツ、ハーフパンツなど指定品とし、体育館シューズ、帽子、ヤッケも指定品とする。また、グラウンドシューズは各自で運動靴を準備すること。
- ⑥ 実習時の服装や頭髪は、各科で指定するものとする。
- ⑦ 学校行事等により、異装の許可や指定をすることがある。

#### 4 通 学

地域の一人としての自覚を持ち、公衆道徳を守り、安全に注意して通学しよう。

- ① 交通ルールや通学マナーを守って、安全に通学すること。
- ② 公共交通機関などを利用する場合は他の乗客の迷惑とならないよう注意すること。
- ③ 登校時は安全を考慮し、定められた経路に従い通学すること。  
(駅方面からは学校北東の信号を経由し歩道を通るルートを使用すること。)
- ④ 自転車通学は許可制とし、自転車安全点検に合格し、許可ステッカーが貼ってあること。
- ⑤ 自転車通学が許可された者は、許可条件や交通ルール、交通マナーを守って安全に通学すること。
- ⑥ 特に二人乗り、信号無視、イヤホン装着、ながらスマホ、無灯火は絶対にしないこと。
- ⑦ 小型モビリティ(電動キックボード、モペット)などでの通学は禁止する。
- ⑧ 生徒の送迎は安全のため校内への乗り入れは禁止とし、周辺の路上は避け、安全に停車できる場所で乗降すること。

#### 5 携帯電話・スマートフォンなど

携帯電話の所持はあくまで登下校中の緊急連絡用として認めています。

- ① 通学生は校内持ち込みは可とするが、校内での使用は禁止する。(電源OFFで鞆の中)
- ② 寮生は校内持ち込み禁止とする。
- ③ スマートウォッチなどウェアラブル端末の持ち込みは禁止する。

#### 6 SNS関係

思わぬ形でトラブルが発生しているので被害者にも加害者にもならないよう、正しい使い方をしよう。

- ① ネットリテラシーを守って使用する。
- ② 校内、寮内の画像や動画をアップロードすることは禁止する。
- ③ 自分や友だちの顔写真や動画、情報を不用意に公開しない。(個人情報)
- ④ 相手の立場に立ってメッセージは送信するようにし、誹謗中傷などは書き込まない。(面と向かって言えないことは書き込まない)
- ⑤ ネットで知り合った人に会いに行かない。
- ⑥ 不適切な情報など「有害サイト」や「違法サイト」にアクセスしない。
- ⑦ 「歩きスマホ」や自転車乗車中の「ながらスマホ」はしない。
- ⑧ サイバー犯罪に巻き込まれることがないように注意して利用すること。
- ⑨ 一度アップロードした情報は二度と消えないことを意識すること。
- ⑩ 実習に際して施設や患者、利用者に関する情報は絶対にアップロードしない。

## 7 学習用タブレット端末

学習用タブレット端末は、教科書や辞書と同様の学習道具として使用するが、その特性により使用には制限をかける。

- ① タブレット端末は、学習道具であり、授業、学習、学校教育活動に関係のない娯楽目的の使用はしない(音楽の視聴、動画の鑑賞、不要なアプリの使用など)。
- ② タブレット端末は、授業以外の時間でも学習道具としての操作は良いが、節度をもって使用すること。
- ③ 使用しない場合は、電源を切っておく。
- ④ 校内での充電は禁止する。
- ⑤ 写真や動画は、教育活動に関わるもののみとし、肖像権の保護に配慮し、無断で撮影することのないように注意すること。
- ⑥ タブレット端末の使用に際して、周囲の人に迷惑をかける行為をしてはいけない。
- ⑦ 生徒心得の「SNS関係の心得」に準じ、ネットリテラシー、法律、ルール、マナー、モラルを守って使用すること。

## 8 校外生活

日高高校生としての自覚を忘れず、公共道德を守り、高校生としての品位を保った行動を心がけよう。

- ① 深夜徘徊は禁止。(23時以降の外出は補導対象)
- ② 無断外泊は禁止。
- ③ 運転免許取得、自動車教習所の入所希望者は3年生最終登校日以降とし、承認制とする。
- ④ 免許取得から卒業日まで免許証は保護者保管とする。
- ⑤ アルバイトは原則禁止とし、経済的理由などやむを得ない場合は長期休業中に限る。
- ⑥ アルバイトは原則、自宅から通勤可能な範囲とし保護者の監督範囲内とする。

## 9 絶対にしてはいけないこと

迷うことなく正しい判断が行えるよう常に善悪を考え、遵法意識を身に付けよう。

- ① 法律や青少年愛護条例などに違反する行為は、絶対に行わないこと。
- ② 喫煙、飲酒、薬物乱用(電子タバコ、ノンアルコール飲料などの類似品の使用はもちろん購入、所持も禁止)
- ③ 暴言、恐喝、暴力行為、けんか
- ④ 窃盗、万引き
- ⑤ 深夜徘徊
- ⑥ 無断外泊
- ⑦ 未成年の立ち入り禁止場所への出入り
- ⑧ 単車、自動車の無断免許取得及び運転
- ⑨ ネット犯罪やネットトラブル
- ⑩ 無断アルバイト
- ⑪ いじめ
- ⑫ 考査不正行為
- ⑬ その他反社会的な行為や校則に反するような行為、また、校則に載っていないでもモラルやマナーに反する行為は行ってはいけない。